

小金井市長期計画起草委員会（「環境と都市基盤」「地域と経済」第5回）

日 時 令和2年2月25日（火）午後6時30分～午後8時30分

場 所 市役所第二庁舎601会議室

出席委員 5人

リーダー 上原 和 委員

委員 渡邊 嘉二郎 委員 南 恵子 委員

松嶋 あおい 委員 後藤 広治 委員

欠席委員 0人

---

担当課 地域安全課長 大関 勝広

地域安全課係長 原嶋 薫

環境政策課長 平野 純也

ごみ対策課長 小野 朗

---

事務局 企画政策課長 梅原 啓太郎

企画政策課主査 東條 俊介

企画政策課主事 鎌田 莉央

株式会社創建 左近 靖博

---

傍聴者 0人

---

要点記録

1 第5次小金井市前期基本計画について

（施策1 みどりと水の環境整備）

○現状

- ・ 1つ目の○、みどりの1つとして街路樹が含まれるのであれば、市民の目に良く触れるであろう街路樹について触れた方が良いのではないか。「はげ」の言葉に触れた方がよい。
- ・ 5つ目の○、「緑化の指導」と「水の保全」の関連性を記載した方がよい。
- ・ 6つ目の○、水のモニタリングを行うことが何になるのか明記した方がよい。

○課題、施策の方向性

- ・ 「みどりと水」の施策なので、「課題」「施策の方向性」で「水」の取組があった方がよい。

(施策2 循環型社会の形成)

○現状

- ・ 5つ目の○、焼却灰の削減に努めているのか。
- ・ 5つ目の○、エコセメント施設を安定的に運営するためには焼却灰が多い方がよいのでは？と読める。誤解のない表現にしたい。
- ・ 7つ目の○、路上喫煙地区の周知により、ごみのポイ捨て防止に取り組む、と読める。ごみのポイ捨て対策は路上喫煙地区周知だけに読めるので、表現を見直して欲しい。

(施策3 環境保全の推進)

○現状

- ・ 3つ目の○、雨水貯留施設設置が環境保全にどうつながるかの記載をした方がよい。
- ・ 4つ目の○、水質調査や大気汚染測定がどう公害発生防止につながるのかの記載をした方がよい。

○施策の方向性②

- ・ 市内の二酸化炭素排出量のうち、個人住宅からの排出が占める割合が多く、個人の取組が大事であることを分かるようにできないか。

○施策の方向性③

- ・ 二行目、「基準で行うことができるよう」が、今できていないように見える。
- ・ 調査項目維持・調査機器の充実が、なぜ公害発生防止につながるのか記載をした方がよい。

(施策8 防災態勢の整備)

○目指す姿

- ・ 「公助」を入れた方がよいのでは。
- ・ 「災害に強いまち」にする、というところで公助が含まれると思う。

○施策の方向性②

- ・ 「共助」を支援する市の取組を記載してほしい。
- ・ 人材育成が市民の育成と分かるように記述しても良いのではないか。

(施策9 地域の安全・安心の向上)

○現状

- ・ 1つ目の○、安全・安心メールのことも書いてはどうか

○現状、課題、施策の方向性②

- ・ 文中に出てくる「消費者トラブル」「消費者被害」「消費者問題」「消費者意識」「消費者教育」という言葉が分かりづらい。消費者被害と消費者トラブルは同一か。一般的な表

現かもしれないが、何を指しているか分かりづらい。

## 2 その他

- ・ 文言の調整は、リーダーに一任とする。